

○教育課程研究指定校事業（国立教育政策研究所）

1 研究課題

新学習指導要領の趣旨等を実現するための教育課程の編成、指導方法等の工夫改善に関する実践研究

2 実践研究の目的、内容等

本研究では、各教科において、特に教育課程の編成、指導方法及び評価方法等の工夫改善に関する実践研究を行い、その成果を全国に普及し、各学校での指導改善の参考に資する。さらに、新学習指導要領に基づく各教科の目標や内容に照らした生徒の学習の実現状況を把握するため、原則履修科目等で示された課題についても研究に取り組み、今後の教育課程等の改善に資する。

3 研究指定校（商業）と研究主題

研究指定校名	学校における研究主題
北海道小樽商業高等学校	学習指導要領の趣旨等を実現するためのケースメソッド取り入れた指導方法と評価方法の工夫改善及び学習の実現状況の把握についての研究
神奈川県立厚木商業高等学校	学習指導要領の趣旨等を実現するためのディベート等を取り入れた指導方法と評価方法の工夫改善及び学習の実現状況の把握についての研究
鳥取県立鳥取商業高等学校	学習指導要領の趣旨等を実現するためのケーススタディ、知識構成型ジグソー法を活用した指導方法と評価方法の工夫改善及び学習の実現状況の把握についての研究
広島県立呉商業高等学校	学習指導要領の趣旨等を実現するための実践的なコミュニケーション能力を育成する指導方法と評価方法の工夫改善及び学習の実現状況の把握についての研究

4 研究期間

平成26年度から2年間

5 研究協議会

研究協議会において研究成果を発表。

平成27年2月上旬に都内で実施予定

（平成25年度は、16道県、大学等から合わせて44名が参加）

○学習指導実践研究協力校事業（国立教育政策研究所）

1 趣旨

国公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校（以下「学校」という。）における学習指導について、指導上の課題や困難がみられる内容等に関する優れた実践等を検証し、その成果を広く普及し、もって学校における学習指導の改善充実に資する。

2 委嘱期間

平成26年度の1年間

3 研究協力校（商業）

埼玉県立八潮南高等学校

4 実践内容

知識構成型ジグソー法の活用などによる授業改善